

JA宮崎県農青協結成60周年に寄せて



全国農協青年組織協議会
会長 水野 喜徳

JA宮崎県農青協におかれましては、結成60周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。全国6万盟友を代表して、心よりお祝い申し上げます。

また、日頃より、盟友・関係者の皆様が一丸となって青年部活動に取り組まれていることに、改めて敬意を表しますとともに、JA全青協の活動に対しましても、多大なるご理解・ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、本年は、各JAで創造的自己改革に取り組む、第27回JA全国大会決議の実践最終年度であるとともに、政府の「農協改革集中推進期間」の期限を来年5月に控える、大きな節目の年であります。「自主・自立」の地域に根ざした協同組合であるJAという組織の意義・役割を再認識しつつ、20年、30年先を見据えて、日本農業のあるべき姿を考えていく必要があります。

日本農業を背負って立つのは、われわれ青年部世代に他なりません。一方、農政に目を転じれば、新たな日米の交渉や、食料・農業・農村基本計画の見直しなど課題は山積しております。青年組織の仲間を増やしながら、ポリシーブックを基軸に、宮崎県はもとより全国が一致団結して立ち向かっていく必要があります。

こうしたことから、盟友の皆様におかれましては、ぜひ自分たちがJAの主役だという意識をこれまで以上に高く持ちながら、JA運動を積極的に担っていただきたいと考えております。また、関係者の皆様方には、青年農業者との対話を行うなど、その声を大切に受け止めていただきたいと考えております

幸い県内では、すでに盟友の先輩が、JAの役員としてJA運動の先頭に立っておられます。これは全国の盟友にとってもたいへん心強いことでもあります。

地域のリーダー・核となる担い手の現状をふまえれば、われわれの世代がJAの経営などに責任を持つようになる順番は、想像以上に早いかも知れません。

60年の長きにわたり宮崎県農業を盛り立ててきた先人の想いを胸に、誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、農業の新しい時代を創造してまいりましょう。

結びに、JA宮崎県農青協のますますのご発展と、盟友をはじめ皆様方のご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。